

**NC** 名古屋市立大学  
**経済学部**  
**大学院経済学研究科**

**【滝子(山の畑)キャンパス】**

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1  
 TEL(052)872-5702  
<http://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/>

名市大経済 検索



**【利用交通機関】**

- ◆名古屋駅から  
地下鉄桜通線「徳重(とくしげ)」行き乗車  
「桜山」駅下車(5番出口から東門まで約600m)
- ◆金山駅から  
金山総合駅 市バスターミナル  
7番のりば 金山11号系統「池下」行き乗車  
金山16号系統「瑞穂運動場東」行き乗車  
金山12号系統「妙見町」「金山」行き乗車  
8番のりば 金山14号系統 桜山経由  
「瑞穂運動場東」行き乗車  
(市バスは、いずれも「滝子(たきこ)」で下車)



**【募集要項の請求はこちら】**

テレメール <http://telemail.jp>

※その他希望する資料の請求が可能です。



2011

NAGOYA CITY UNIVERSITY

Faculty of Economics

Graduate School of Economics

**名古屋市立大学**

**経済学部**

公共政策学科

マネジメントシステム学科

会計ファイナンス学科

**大学院経済学研究科**

経済学専攻

経営学専攻

# 経済学部・大学院経済学研究科

## 沿革

- 1964年 経済学部経済学科創設
- 1967年 経済学部棟(現3号館)完成・現キャンパスに移転
- 1968年 大学院経済学研究科経済政策専攻を設置
- 1970年 大学院博士課程を設置
- 1989年 大学院経済学研究科日本経済・経営専攻(社会人大学院)を設置
- 1991年 経済学部経営学科を増設し、2学科制に移行
- 1996年 附属経済研究所を設置
- 2005年 大学院経済学研究科を経済政策分析専攻・日本経済経営専攻に再編
- 2007年 経済学部を再編し、公共政策学科・マネジメントシステム学科・会計ファイナンス学科の3学科体制に移行
- 2008年 大学院経済学研究科を経済学専攻・経営学専攻に再編



## CONTENTS

沿革	2	<b>大学院経済学研究科</b>	
理念と目的・アドミッションポリシー	3	経済学専攻	16
<b>経済学部</b>		経営学専攻	17
公共政策学科	4	修士論文/ RP・教育支援	18
マネジメントシステム学科	6	入試	19
会計ファイナンス学科	8	進路	20
留学・学生生活	10	附属経済研究所・社会貢献	21
教育支援	12	教員紹介	22
入試	13	公式サイト・Netで体験!	23
進路	14	アクセス	裏表紙

## 経済学部

### 理念と目的

経済学部の基本的な目的は、広い教養を持ち、経済学と経営学の諸理論に精通し、各自が直面するであろう経済、経営上の諸問題に柔軟かつ的確に対応できるような人材を社会に送り出すことです。

### アドミッションポリシー

本学部の教育理念・目標にしたがって、次のような意欲と能力に満ちた学生が入学することを期待し歓迎いたします。

- 前向きな学習意欲を持っている人
- 豊かな教養の形成を目指す人
- 経済・経営分野への高い知的関心を持っている人
- 国際的分野について十分な理解力を持っている人
- 自分の行動に責任を持てる人

## 大学院経済学研究科

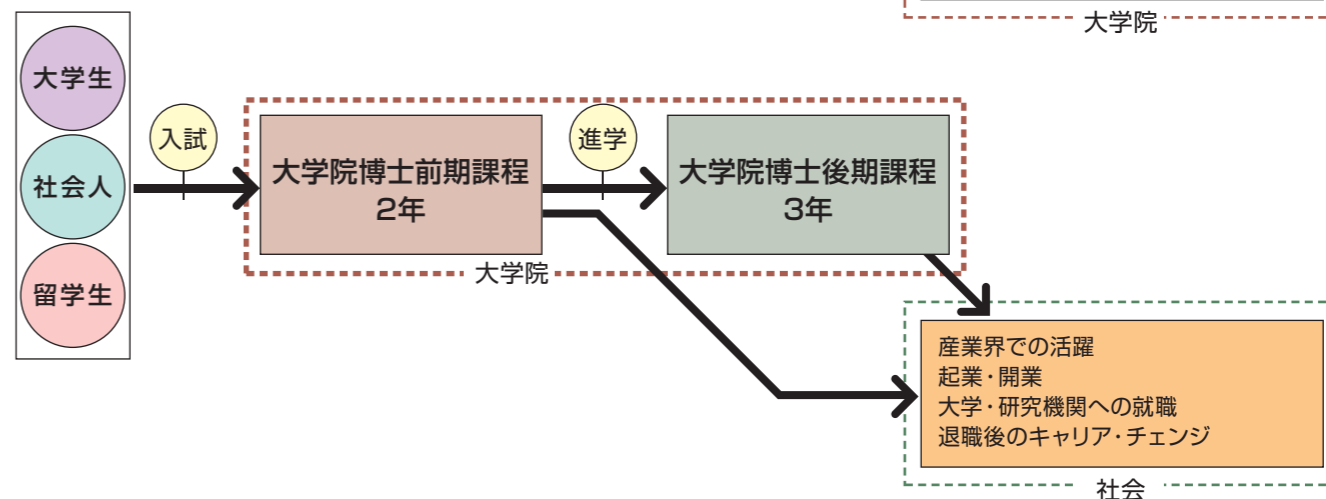
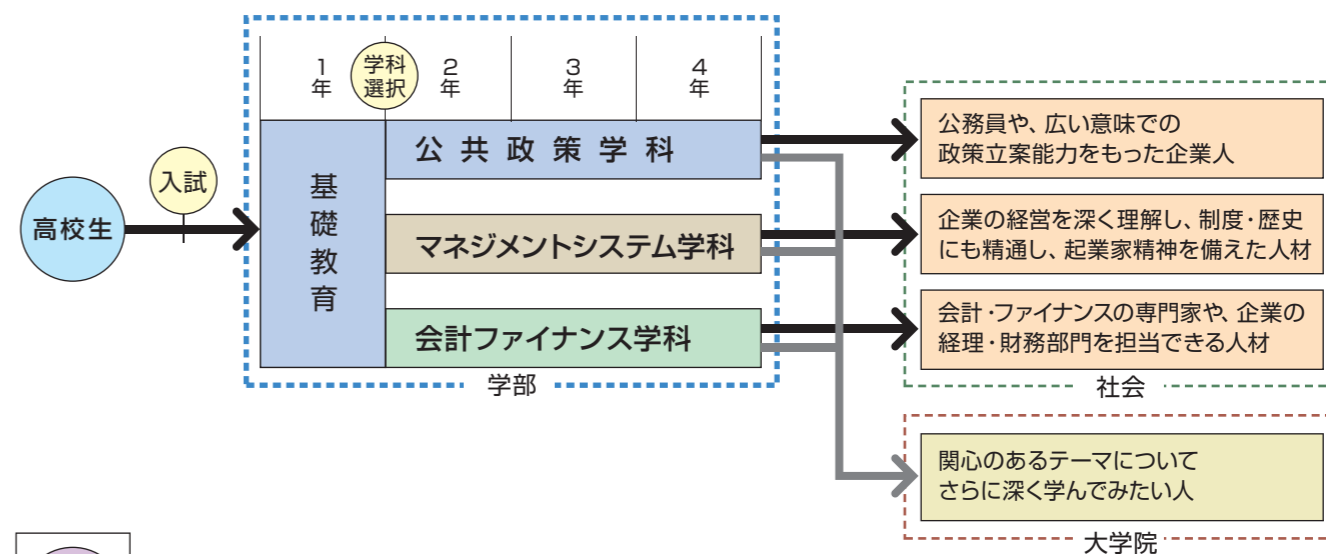
### 理念と目的

経済学研究科の基本的な理念は、経済学や経営学に関する広範で豊かな知識や教養を備えた社会人ならびに高度な専門知識を有する研究者の養成に努め、経済、経営上の諸問題に柔軟かつ的確に対応できる高度な専門性を持つ人材を社会に送り出すことです。

### アドミッションポリシー

本学研究科の教育理念・目標にしたがって、次のような意欲と能力に満ちた学生が入学することを期待し歓迎いたします。

- 経済・経営分野におけるより高度な学習や研究に関心を持っている人
- 大学院での成果をもとに高度専門職業人として社会で活躍したい人
- 経済学・経営学に関するより広範で豊かな教養の形成を目指す人
- 国際的分野について十分な理解力を持っている人
- 研究や学習上の諸課題に立ち向かう強い意志と前向きな意欲を持っている人





# 公共政策学科 [経済系]

## 経済学を学ぶ—知的探求への誘い

### 学科概要

公共政策学科は、国や県・市町村などの自治体による政策を評価し、今後の政策のあり方を考える実践的な学科です。市場のしくみが複雑になり、地方分権が進んでいる現在、国や自治体の経済社会における重要性が高くなっています。これらがいかなる政策を実行するのかは、社会や経済の動きを考えていく上で、ますます無視することができないものとなっています。また、企業や非営利組織(NPO)にとっても、国や自治体の政策が経済に与える影響を的確に分析することは、経営方針を立案するために不可欠なものとなっています。

こうした時代の要請に応じて、公共政策学科では、市場経済の動きを十分理解したうえで、国や自治体の政策を評価し、企業やNPOの経営方針を立案できる政策マン・政策ウーマンの養成を目指しています。このため、経済学の基礎分野とその応用分野を幅広く体系的に学べるカリキュラムが用意されています。

卒業後は、国や自治体で政策立案を担う公務員はもちろん、企業やNPOで経営企画を担う人材としての活躍が期待されています。

### ◆カリキュラム表

カリキュラム		1年次	2年次	3年次	4年次
<b>全学共通科目</b>					
学部共通科目	必須科目	入門経済学、共通演習		演習Ⅰ	演習Ⅱ
	選択科目	日本経済論、簿記原理、入門経営学、経済経営数学、入門ファイナンス	キャリアデザイン		
学科基礎科目		現代経済・経営特論			
		マクロ経済学、ミクロ経済学、公共経済学、国際経済学、金融論、財政学、経済史、情報処理論、会計学原理、データ分析基礎、統計分析基礎、憲法、行政法			
学科応用展開科目		金融政策論、社会保障論			
		公共政策、地方財政論、租税論、食糧・資源政策論、非営利経済論、産業組織論、実験経済学、国際公共政策論、経済開発論、医療経済学、応用マクロ経済学、応用ミクロ経済学、応用公共経済学、都市経済学、国際金融論、地域経済学、日本経済史、外国経済史、経済学史、比較経済システム論、アジア経済論、欧米経済論、国際経済関係論、労使関係論、労働経済論、日本経済・経営、金融システム論、金融市場論、経営情報学、オペレーションズ・リサーチ、計量経済学、環境経済学、行政学、地方自治法、民法、経済法、労働法、知的財産法、会社法			



### カリキュラムの説明

1年次には、経済学の基礎(入門経済学)、経営学・会計学の基礎(入門経営学、簿記原理、入門ファイナンス)、日本経済の現状(日本経済論)を学びます。

2年次には、マクロ経済学やミクロ経済学で市場経済の機能をより深く学ぶとともに、公共経済学や財政学、金融論、国際経済学等の科目で、経済学からみた政府の行動、金融市場の動き、国際貿易や国際金融についての分析方法を幅広く学びます。また、政策効果を検証するために役立つ統計的手法も学習します。

3、4年次には、特定の分野での経済現象や政策効果の分析を行う数多くの科目が用意され、国や自治体、NPOで活躍することを目指すか、企業でのキャリアを選ぶかによって、学習する科目を系統的に選択することができます。また、各時点で、問題となっている政策課題を取り上げ、既存の政策の評価や今後の政策展開の方向を考える実践的な科目として公共政策があります。さらに、学生が特定の政策課題に主体的に取り組む場として、少人数の演習(ゼミ)が用意されています。

### 教員 MESSAGE

## ゼミナールって知っていますか?

### 澤野孝一朗 准教授

担当: ミクロ経済学、医療経済学

ゼミナールとは、ゼミとも呼ばれ、少人数で行われる研究活動です。現在、経済学部では3年生と4年生が「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」として履修することになっています。ゼミの魅力はなんと言っても、いろいろな知識・経験を持つ教員との密接なコミュニケーションです。ゼミは必修ではない大学も多いのですが、経済学部では必ず履修しなければいけません。

ちなみに澤野ゼミでは、名古屋や東海地方の家計や企業の資料・データを集め、そこからいろいろ考え、プレゼンテーションを行ってもらい、最終的には報告書をまとめる活動を行っています。

### 先輩 MESSAGE

## この4年間をどう過ごしますか?

### 武田真由子さん

名古屋市立向陽高校出身

大学生活の中で最も大事なことは、主体的に動くこと、です。高校までとは違い、大学では自ら動かなければ何も得られません。私の場合それに気付いたのはゼミでした。担当教授の澤野先生や他のゼミ生との対話によって自分に足りないものを考え、ボランティアや将来のための勉強に取り組みました。私にとってゼミはモチベーションを維持するための場であり、最も大切な時間でした。大学4年間をどう使うかはあなた次第です。興味のあることには進んで飛び込んで学び、それと同じくらい大いに遊び、充実したものにしてください。





# マネジメントシステム学科 [経営・制度系]

## 組織のマネジメントを学ぶ

### 学科概要

情報技術の発展や経済のグローバル化は、企業、地域社会、国家、国際社会など、さまざまな組織の相互関係を変化させ、マネジメント(経営)のあり方にも影響を及ぼしています。

マネジメントシステム学科では、さまざまな組織のマネジメントの仕組みについて、経営学および制度・歴史の2つの視点から学びます。経営学分野では、組織の編成、新事業創造、マーケティング戦略の構築、人的資源に関するマネジメントの仕組みなどが学べるカリキュラムが用意されています。また、制度・歴史分野では、企業とそれを取り巻く地域社会、国家、国際社会の仕組みについて制度的・歴史的な視点から学べるカリキュラムとなっています。

急激な社会の変化の中で、これまでの経営や経済の理論を踏まえつつ、複雑化する組織を統合的にとらえることができる人材が求められています。このような要請に応えるために、企業の経営を深く理解し、制度・歴史にも精通した人材の育成を目指しています。



### ◆カリキュラム表

カリキュラム	1年次	2年次	3年次	4年次
	<b>全学共通科目</b>			
学部共通科目	必須科目	入門経済学、共通演習	演習Ⅰ	演習Ⅱ
	選択科目	日本経済論、簿記原理、入門経営学、経済経営数学、入門ファイナンス	キャリアデザイン	
学科基礎科目	現代経済・経営特論		経営組織、経営戦略、組織行動、企業論、商品開発、マーケティング、人的資源管理、組織の経済学、制度経済学、経済史、世界経済論、国際経済学、情報処理論、会計学原理、データ分析基礎、会社法、知的財産法	
学科応用展開科目	リーダーシップとネゴシエーション、地域企業活性化論、マクロ経済学、ミクロ経済学		事例研究特論	
			変革マネジメント、組織文化論、国際経営論、新事業創造論、ブランドマネジメント、ナレッジマネジメント、生産管理、産業経済論、経営史、日本経済史、外国経済史、経済学史、比較経済システム論、アジア経済論、欧米経済論、国際経済関係論、労使関係論、労働経済論、経済経営英語、日本経済・経営、公共経済学、金融論、財政学、企業ファイナンス、統計分析基礎、産業組織論、経済開発論、国際金融論、財務会計、管理会計、コーポレートガバナンス、経営情報学、オペレーションズ・リサーチ、環境経済学、経済法、労働法	

### カリキュラムの説明

1年次では、経済学の基礎(入門経済学)、経営学・会計学の基礎(入門経営学、簿記原理、入門ファイナンス)、日本経済の現状(日本経済論)を学びます。

2年次では、経営学分野と制度・歴史分野に関する基礎科目を学びます。基礎科目は、経営学分野に経営組織、経営戦略、企業論、マーケティング、人的資源管理などがあり、制度・歴史分野に制度経済学、経済史、世界経済論などがあります。また、データ分析基礎などを通じて、統計やプレゼンテーションの方法も学びます。将来の進路を考えるためのキャリアデザインも履修できます。

3、4年次では、より高度な専門性を身につけるため、幅広い応用展開科目の中から、各自の問題意識に合った専門科目を学びます。同時に少人数の演習(ゼミ)、経営・経済現象の体験的な学習機会としての企業経営の事例分析、経営者が経営体験を語る産学連携講座、さらに企業実習(インターンシップ)もあります。

### 教員 MESSAGE

## 仲間とともに考え、学ぶ場所です 出口将人 准教授

担当科目：経営戦略、ナレッジマネジメント

マネジメントシステム学科の教員が担当するゼミは、毎年10~12程度開講されますが、内容や進め方にはかなりの違いがあります。地域振興や商品開発に積極的に取り組むゼミがある一方、専門書や論文を読みこむことが中心になっているゼミもあります。

出口ゼミの中心はグループ研究です。昨年のグループ研究では、高業績企業のビジネスシステムについての論文を作成しました。それと並行して、①世の中の動きにたいする感度を高めるため、時事問題についての報告およびディスカッション、②ものの方見方や考え方についての意識や技術を高めるべく認識論や論理学についての勉強も取りいれています。また、ゼミ生同士のつながりをとても大事にしており、在校生同士はもちろん、在校生と卒業生の交流も積極的におこなっています。

### 先輩 MESSAGE

## 自分次第で何でもできる大学

一木志津佳さん 三重県立桑名高校出身

名古屋市立大学経済学部では興味があることを思いきり学ぶことができます。とくに3年生から始まるゼミでは、自分が関心をもったことをより深く学ぶことができます。私の所属するマネジメントシステム学科のゼミでは、たとえば、高業績企業の強さの秘密を探るべく、フィールドワークをおこない、その成果を報告するなど、実社会とのかかわりを意識し、行動しながら学ぶことが特徴になっています。学業以外の面では、大学内外のサークルが盛んで、私自身、他大学とのサークルで大学の枠を越えて多くの人と出会い、とても充実した大学生活を送っています。





# 会計ファイナンス学科 [会計系]

## 企業の会計・財務を学ぶ

### 学科概要

会計ファイナンス学科は、企業の活動を資金面から考える学科です。世界共通の会計ルールの導入を始めとして、「会計ビックバン」と呼ばれる大きな制度改革が行われ、それは現在も進行中です。また、企業の資金調達方法は銀行の借入れから市場における資金調達へと大きく変化し、さらにM&A(合併・買収)、研究開発投資などが増えています。このような企業の活動を幅広く分析できる会計やファイナンスの専門知識の習得が不可欠になってきています。

企業が行う財務的な意思決定の方法を学ぶのが「ファイナンス」であり、それらを測定して企業の内外に報告するのが「会計」です。会計ファイナンス学科では、会計、ファイナンス、金融工学などの科目と、それらと関連する統計的・数量的方法および情報処理手法の科目を学ぶことにより、会計・ファイナンスの専門家や企業の経理・財務部門を担当できる高度な職業人の養成を目指しています。

卒業生は公認会計士や税理士はもちろんのこと、金融業、製造業、サービス業、公務員などの分野に就職し、会計やファイナンスの知識を活かして活躍しています。



### ◆カリキュラム表

カリキュラム		1年次	2年次	3年次	4年次
		<b>全学共通科目</b>			
学部共通科目	必須科目	入門経済学、共通演習		演習Ⅰ	演習Ⅱ
	選択科目	日本経済論、簿記原理、入門経営学、経済経営数学、入門ファイナンス	キャリアデザイン		
学科基礎科目		現代経済・経営特論	情報処理論、会計学原理、原価計算、企業ファイナンス、先物・オプション入門、データ分析基礎、統計分析基礎、マクロ経済学、ミクロ経済学、金融論、財政学、企業論	証券投資論、経営組織、経営戦略、会社法	
学科応用展開科目			簿記実務、ファイナンス実務、民法	財務会計、管理会計、財務分析、税務会計、国際会計、監査論、コーポレートガバナンス、ファイナンス分析、会計実務、財務情報処理、応用企業ファイナンス、金融システム論、金融機関マネジメント、金融市場論、金融工学入門、証券投資論、保険論、経営情報学、オペレーションズ・リサーチ、計量経済学、組織行動、商品開発、人的資源管理、組織の経済学、金融政策論、国際金融論、リーダーシップとネゴシエーション、国際経営論、新事業創造論、ブランドマネジメント、日本経済・経営、環境経済学、経済法、労働法、租税法、知的財産法	

### カリキュラムの説明

1年次では、経済学の基礎(入門経済学)、経営学・会計学の基礎(入門経営学、簿記原理、入門ファイナンス)、日本経済の現状(日本経済論)を学びます。

2年次では、会計分野とファイナンス分野に関する基礎科目を学習します。基礎科目は会計学原理、原価計算、企業ファイナンス、先物・オプション入門などがあります。

3、4年次では、より高度な専門的知識を学ぶため、幅広い応用展開科目の中から、自分の問題意識に合った専門科目を選択します。こうした科目として、財務会計、管理会計、財務分析、国際会計、コーポレートガバナンス、ファイナンス分析、財務情報処理、金融市場論、金融工学入門、経営情報学、オペレーションズ・リサーチなど多数あります。さらに10名程度の少人数による演習があり、ゼミナール形式による教育が行われています。また、公認会計士やファイナンシャルプランナー等の資格取得を支援する体制も整っています。

### 教員 MESSAGE

#### ゼミを選ぶということ

#### 茨木智准教授

担当科目：オペレーションズ・リサーチ、情報処理論

2年生までに基礎的科目の学習を終えたら、3年生に上がる際に演習(ゼミ)を選び、本格的な専門教育をスタートさせます。2年間のゼミでは、担当教員の指導のもとで、より深く専門性を追求していくことになります。ではどのようにしてゼミを選ばいいのでしょうか。会計ファイナンス学科には、会計系、ファイナンス系および情報系の約10のゼミがあります。ゼミ選考では、まず「何を知りたいか?」、「何に興味があるか?」、をはっきりさせましょう。そのためには、ゼミの情報を集める必要があります。それも口コミやうわさでなく、実際に教員や先輩と話しましょう。そのためには、コミュニケーション能力が必要です。結局ゼミの2年間で充実したものになるかどうかは取り組む姿勢次第ということです。

### 先輩 MESSAGE

#### 名市大を楽しんでいます

#### 水野未菜美さん 愛知淑徳高校出身

私は高校時代代理系学部を目指していたこともあり、数学の知識を生かすべく会計ファイナンス学科を選びました。そして3年生から始まる演習は、個人・企業・社会における意思決定問題を最も合理的に解決しようとするオペレーションズ・リサーチという技法を学ぶ茨木ゼミを選択しました。夏のゼミ合宿、ボーリング大会等のイベント企画や、ブログ活用法をテーマにしたカンファレンスへの参加はいい経験になりました。高校生のみならず、体調管理をしっかりと、諦めず前向きに頑張ってください。ぜひ一緒に充実したキャンパスライフを送りましょう。





# 留学・学生生活

## 留学

経済学部では、教育・研究における国際交流を促進するために、海外の大学との間で交流協定を結び、学生のみならずに留学の機会を提供しています。現在では、以下のような大学に留学生を派遣しています。英語能力や学業成績などによる選考を行い、留学生を決定します。

- ニュー・サウス・ウェルズ大学(オーストラリア・シドニー)
- パリ第13大学(フランス・パリ)
- 中央民族大学(中国・北京市)
- ハルム大学(韓国・春川市)
- 南ソウル大学(韓国・天安市)

これらの大学への留学では、名古屋市立大学の授業料を納入すれば、留学先大学の授業料は不要で、航空運賃の補助もあります。留学中に取得した単位は、名古屋市立大学の単位としても認定されます。

また、イギリスにあるクイーンズ大学の国際学習センターでは、1~4ヶ月間の海外研修プログラムに参加できます。ロンドン郊外にある美しい古城で宿舍生活をしながら、英語で行われる授業でヨーロッパの歴史、文化、経済などを学習します。さらに、このプログラムでは、ロンドンを起点にイギリス国内やヨーロッパ大陸の文化施設や史跡を巡り見聞を広める研修旅行も用意されています。



## 市大祭

市大祭は、経済学部のある滝子キャンパスで毎年11月に行われる名古屋市立大学のメイン大学祭です。2011年は、11月12日(土)、13日(日)に開催します。



先輩  
MESSAGE

### キャン「パ」スに祭りを描く 鵜飼和彦さん

星城高校出身

「大学祭」という言葉を聞いた時、どんなイメージを思い浮かべるでしょうか？ 大学生同士が集まって、模擬店やステージ、有名人のゲストなどで盛り上がるという印象を浮かべる方も多いかと思います。しかしこの滝子キャンパスで行われる「市大祭」はそれだけではありません。近隣の商店街の方とのコラボや子供連れの親子も楽しめる企画など、年齢を問わず、来場者全員に楽しんでもらえる催しが満載の大学祭、それが市大祭です。一方で運営は学生で組織される市大祭実行委員会が担っており、学祭の裏舞台では約1年をかけて準備が進められています。気になる人は是非市大祭実行委員会に参加してみてください。他ではできない経験が沢山できる場所なので、きっと充実した大学生活が送れることと思います。



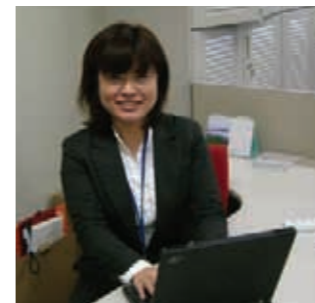
## 公認会計士を目指そう

名古屋市立大学経済学部に入學し、その後、会計に関連する科目を専門的に勉強して、公認会計士や税理士を目指す、あるいはそれらの資格を取得する学生が、最近、急激に増えています。彼らの仕事内容は、上場企業の会計実務(決算報告書など)について監査したり、税務に関連する業務をコンサルティングしたりと、それらはいずれも現代の企業経営において欠かすことができないものです。

経済学部の2010年度の実績としては、公認会計士試験15名(現役5名、卒業生10名)の合格者のほか、数多くの税理士試験科目合格者が誕生しました。これらの合格者は、卒業後に監査法人や企業、あるいは公的機関などで、会計専門職として活躍することが期待されています。

先輩  
MESSAGE

### 興味を広げることを心がけよう



### 小澤里美さん

2009年卒業、仰星監査法人勤務

私は今、仰星監査法人名古屋事務所で上場企業の財務諸表の監査などの業務に携わっています。社会的責任がありやりがいのある仕事です。名古屋市立大学は資格試験の入門基礎にもなる簿記・経営学などや、社会人として必須の英語・情報処理などや、幅広い知識を身に付けられる教養科目などが勉強できる環境があります。受験予備校で資格試験のためガリ勉するだけでなく、興味のある学問の勉強や、友人と学祭やサークル活動など大学生でしかできないことにチャレンジして楽しんでみてください!!! その経験は社会人になった時に、やりたいことをできる力になりますよ!!

## 奨学金

名古屋市立大学独自の制度として、各年度の成績が優秀な学生に奨学金が支給されます。また、日本学生支援機構奨学金をはじめとする各種奨学金の制度があります。



先輩  
MESSAGE

### 全ては自分次第!

### 新美雅子さん

愛知県立千種高校出身

私は大学に入るといろんな事ができると思っていましたが、大学に入っても、あるのは授業だけ。大学生活を充実したものにするか、結局、自分次第。大学が何か与えてくれるものではないと気づいた時、自分から動き出しました。職員の方が行っていた清掃やテスト前の机の落書き消しを手伝い、サークルも作りました。大学が小さいからこそ、何か始めるとみんながいろんな情報をくれ、応援してくれます。やれる環境は整っているからこそ、やるかどうかは、自分次第。ゼロから頑張ってみたいという人にぜひ来てもらいたいです。





# 教育支援

## 資格対策室

税理士、公認会計士、公務員などをを目指す学生のための資格対策室があります。関係資料の閲覧や自習用のスペースがあり、試験対策に利用することができます。



## 談話室

講義の間の休憩やグループでのディスカッションなどに利用できる談話室があります。8時から22時まで、土日とも開室しています。



## 学習室

学習室では講義についての質問や相談を随時受け付けています。また、講義で配布した資料や過去問題などの配付も行っています。



## 大学院早期履修制度

大学院への入学を希望するなど一定の条件を満たしている4年生は、博士前期課程の授業を履修することができます。この制度を利用して修得した単位は、大学院入学時に博士前期課程の修得単位として最大10単位まで認定されます。

## 卒業生表彰制度

大学内外での活動において顕著な成果をあげた学生を表彰する制度があります。表彰は卒業式後の卒業記念パーティーにおいて瑞山会が行います。対象となる活動は、卒業論文、資格取得、スポーツ、文化活動、ボランティア活動などであり、多様な側面から大学生活への取り組みが評価されます。

先輩  
MESSAGE

### 卒論制作について

村越あゆ子さん 2010年表彰者(卒業論文)

私は、格差を是正する機能がある「所得税の給付つき税額控除」の導入について論じました。まず、既に本制度を導入しているアメリカのデータを収集し、その効果を分析しました。次に日本において本制度が導入された場合の効果を試算し、検証しました。卒論制作において苦労した点は、テーマ選択とデータ収集です。特にアメリカのデータを集めるため、英語のHPからデータを拾うのには時間がかかりました。研究が前に進まず悩んだこともありましたが、卒論を書き終えたことは、大学の勉強の集大成として貴重な経験になりました。



# 入試(経済学部)

## ◆平成24年度入試予定

試験区分		試験日	試験科目	募集定員	備考
一般選抜	前期日程	2月25日	英語、数学	120名	
	後期日程	3月12日	英語	25名	
			数学	25名	
	センター優先			20名	センター優先とは、EコースとMコースを合わせた受験者中、センター試験成績上位者を合格者とするもの
特別選抜	推薦入学A	11月19日	面接試験	10名	高校の普通科以外の学科を24年3月卒業見込みの者対象
	推薦入学B			30名	高校を23年3月卒業又は24年3月卒業見込みの者対象

## ◆入試関連カレンダー

開催日	試験・イベント
平成23年7月30日	オープンキャンパス
平成23年10月10日	授業開放日(体育の日)
平成23年11月1日-7日	推薦A 出願期間
平成23年11月19日	推薦A 面接試験
平成24年1月14日-15日	大学入試センター試験
平成24年1月16日-20日	推薦B 出願期間
平成24年1月23日-2月1日	前期・後期日程入試 出願期間
平成24年2月25日	前期日程入試
平成24年3月12日	後期日程入試

先輩  
MESSAGE

### 商業高校出身と名市大経済学部



越智有佐さん 2010年卒業、愛媛県庁勤務

私は商業科出身でしたが、どの分野でも真剣に取り組めば楽しさが見つけられること、またどの分野でも積極的に挑戦していこうという気持ちを持つことができました。大学生活は、やりたいこと、やれることの幅を広げていける場所です。経済というのは、すべてに繋がる学問です。興味のある分野はもちろんのこと苦手分野にも挑戦していくことで、多くの知識と経験が得られます。将来のためにじっくり勉強するのに、名古屋市立大学は落ち着いた場所を提供してくれます。

## Q&A

**Q:** 推薦Aを受けますが、経済学部の数学についていけませんか?

**A:** 数学については、入学が決まった方に対して、高校時代にぜひ学んでおいてほしい単元の勉強をするための資料を送付しています。また、入学してからは補習授業や相談窓口を設けていますのでぜひ利用してください。

**Q:** 後期日程のセンター優先は、個別学力試験を受験しなくても合格できますか?

**A:** できません。

**Q:** オープンキャンパスはいつ開催されますか?

**A:** 経済学部のオープンキャンパス(大学説明会)は、夏休み(7月30日)に開催する予定です。入学試験について説明するだけでなく、経済学部の教員によるミニ講義と学部学生による学生生活の紹介を行っています。高校生の皆さん、父兄の皆様の多数のご参加をお待ちしています。なお参加には事前予約(6月上旬受付開始)が必要です。(詳細は名古屋市立大学経済学部Webサイトを見てください。)

**Q:** 経済学部の講義を見学することはできますか?

**A:** 体育の日(10月第2月曜日)は授業が開講されます。その日は、高校生対象に経済学部の授業を開放します。名古屋市立大学経済学部の通常の講義を体験していただく唯一のイベントです。興味をもたれた高校生の方はぜひ聴講に来ませんか? なお参加には事前予約が必要です。(詳細は名古屋市立大学Webサイトを見てください。)

**Q:** 願書を出すときに、学科を選ばなければなりませんか?

**A:** いいえ。すべての入試区分において、入試の時点では学科によらず一括で募集します。その後2年次に進級する際に学科に振り分けられます。したがって、1年次においてどの学科に進むかを考えながら勉強する必要があります。



# 進路

## 就職

経済学部の卒業生はさまざまな分野で幅広く活躍しています。名古屋市立大学は、就職活動をサポートするために、キャリア支援センターを設置しています。

センターには毎日スタッフが常駐し、就職の傾向と対策に関する相談体制が整っています。また、資料も豊富に備えてあり、さらにWebによる情報発信も行っています。

授業では、就職活動に必要な基礎的知識を学習する「キャリアデザイン」という科目があり、さらに、メーカー、商社、市役所などで実際に就業するインターンシップも実施しています。

キャリア支援センターは、さまざまなキャリア支援事業を通じて、みなさんが社会人として活躍できるように応援しています。

## 大学院進学

経済学部を卒業した後、関心のあるテーマについて、さらに深く学んでみたいと希望する方のために、大学院経済学研究科(博士課程)があります。大学院は2年間の前期課程と3年間の後期課程から成っています。経済学部卒業後は、まず前期課程に進み、さらに研究を続けたい場合、後期課程に進みます。

前期課程では、関心のあるテーマについて研究し、修士論文をまとめます。前期課程を修了すると、修士号が取得できるほか、税理士試験の科目免除が認められることもあります。また、より高度な知識を身につけることによって、社会での活躍の場を広げることができます。

後期課程では、前期課程での研究をさらに深く追求し、博士論文を執筆します。後期課程を修了すると、博士号が取得できます。後期課程を修了した学生は、大学や民間の研究機関に就職し、研究者として活躍しています。

また、本学の大学院では、多くの社会人の方も学んでおり、経済学部を卒業後、仕事をしながら大学院に通うこともできます。

### ◆進路状況

年度	卒業生数	就職	進学	自営・その他
平成18	202	172	8	22
平成19	192	160	15	17
平成20	203	168	5	30
平成21	189	149	10	30
平成22	222	189	6	27

### ◆主な就職先

金融・保険	三井住友FG、三菱UFJ銀行、みずほFG、りそな銀行、愛知銀行、名古屋銀行、大垣共立銀行、日本生命、明治安田生命、住友生命、損保ジャパン、商工組合中央金庫、野村證券、大和証券ほか
メーカー	デンソー、アイシンAW、日本たばこ産業、ミツカン、島津製作所、リンナイ、トヨタ車体、トヨタ紡織、日清オイリオ、クボタほか
公務	名古屋市役所、愛知県庁、岐阜県庁、一宮市役所、岡崎市役所、内閣府、厚生労働省、名古屋国税局ほか
その他	中部電力、日本郵政グループ、大和ハウス工業、豊島、ファミリーマート、JR東日本、オービック、ユーフィット、あずさ監査法人ほか

### ●経済学部同窓会 瑞山会 紹介●

経済学部同窓会「瑞山会」会長

前田勝昭さん



名古屋市立大学経済学部は、昭和43年3月に第一期生が卒業いたしました。我が瑞山会は、その10年後にあたる昭和53年11月に、第一期生が発起人となり、卒業生有志の熱意と努力により設立されました。爾来、毎年200名あまりの新卒業生を会員に加え、今日ではその会員数は8,000名に達しています。

瑞山会は、会員相互の親睦をはかるとともに、母校の発展に寄与することを目的としています。またその目的を達成するために、

- バーベキュー大会、ゴルフコンペ、山崎川花見茶会など親睦会の開催
  - 瑞山会会報(親睦会の開催や大学の近況報告等)の年一回発行
  - 4年に一度、会員名簿の発行
- 等、様々な事業を企画・運営し、会員皆様にご協力をいただいています。

また、身近な会員相互の交流の場を広げ、且つ一層親睦を深めることを目的とした、地域別、職種別等支部活動も進めています。

その他、経済学部の新卒業生を対象に、成績優秀者を表彰しています。毎年、卒業論文に秀でた者、社会貢献活動に秀でた者計5名に対し、卒業記念パーティーにて表彰し、「瑞山会賞」を授与しています。

平成20年に瑞山会創立30周年を迎え、9月には記念総会並びに特別記念講演会を開催いたしました。講師を招いての特別記念講演会では、瑞山会会員の他、広く一般聴衆者の聴講も募り、300名近い方のご参加をいただき、大変ご好評をいただきました。

我々瑞山会会員は、名古屋市立大学で経済を学び、卒業後はそれぞれの専門を身につけつつ、多業種、多分野で活躍しています。人的ネットワークは大学そして卒業生の財産です。大いにご活用下さい。

### ◆卒業生からのメッセージ

#### 計量経済学との出会い

中村正治さん

1972年卒業、  
金城学院大学  
生活環境学部勤務



私の卒業はあさま山荘事件の起きた1972年です。その4年前、数学が好きだった私は、当時日本でも有数の大型汎用コンピュータ(実際3、4年時は、毎日のように計算機室に通いつめました)に憧れ、また「計量」経済学との出会いに新鮮さを感じ、本学を志望しました。卒業後は、名古屋銀行のシステム部門に勤め、銀行の様々な問題を数理的に解析した研究が認められ、2003年本学の博士(経済学)の学位をいただきました。その後53歳のとき金城学院大学生活環境学部教授として採用され現在に至っています。

#### ゼミ活動のメリット



井上義之さん

1989年卒業、  
東邦ガス株式会社勤務

私が名市大経済学部で過ごした4年間は、社会人となった現在、大変貴重な財産になっています。3・4年次のゼミでは、担当教員から専門分野についてきめ細かい指導を受けることができ、ゼミ仲間とはテーマに基づくディスカッションを展開していきます。相手の意見にも真摯に耳を傾けつつ、自分の考えを明確に伝える力を養うなど、自分を成長させていける環境が整っています。また、卒業生は東海経済圏を中心に様々な分野で活躍しています。今でも当時の仲間とは異業種交流を図るなど、活力をもらっています。広い視野を持って積極果敢に挑戦し、充実したキャンパスライフを送って下さい。

#### 自分自身のキャリアアップへ

朴海燕さん

2007年卒業、  
日本マーケティング  
研究所(株)  
JMRサイエンス勤務



現在、日本マーケティング研究所(株)JMRサイエンスで主に大手メーカーのリサーチ業務や販売促進のためのデータ分析などの業務を担当しています。学部で学んだ専門知識と大学院で研究した内容を活かせる仕事であり、毎日楽しく仕事に励んでいます。大学では、専門知識を習得できただけでなく、日本人学生との活発な異文化交流によって、より早く日本社会に溶け込むことができました。大学での一つ一つが、私の人生においてとても貴重な経験であり、宝物です。今でも、桜が満開されるきれいなキャンパスや先生方の親切で熱心な授業姿などが思い浮かびます。

#### 大学時代にえた大切なもの

奥村裕史さん

2004年卒業、  
キリンビール勤務



私は大学時代、ゼミにおいて素晴らしい先生と仲間恵まれ、自分が興味のある企業の調査・研究、その成果についての報告と討論を通じて多角的に企業経営についての理解を深める一方、さまざまな課外活動に仲間とともに全力で取り組むことで、社会人として働く上での基礎を固めることができました。また、今も続くゼミの先生や仲間たちとの関係は私にとってかけがえのないものです。大学での4年間はなにでも挑戦でき、自分にとって一生ものの財産を築くことができる貴重な時間です。ぜひ名古屋市立大学で充実した大学生活を送ってください。

#### 大学の教員になって



後藤尚久さん

1990年卒業、  
北九州市立大学  
経済学部勤務

私は、1990年に名古屋市立大学経済学部を第23期生として卒業しましたが、その後大学院博士前期課程(2年間)に進学し、博士後期課程(3年間)、助手を経て北九州市立大学経済学部専任講師として就職して現在に至ります。名市大の先生方は、皆さん研究者としても教育者としても非常に優れています。それは、私だけではなく、諸先輩方や後輩からも多くの大学教員(研究者)を輩出していることから明らかです。名古屋市立大経済学部(の先生方)は受験生皆さんの将来に対するいろいろな可能性を広げてくれます。

#### たくさんの出会いを経験しよう

余語光さん

2009年卒業、  
大垣共立銀行勤務



私は現在、大垣共立銀行に勤務し、渉外業務(担当先の法人・個人を訪問し取引を深める仕事)を担当しています。銀行員の立場から、経営のトップをはじめ様々な方と密接に関わることができ、やりがいを感じるとともに自分自身の成長につながっていると思います。大学時代に、ゼミ・アルバイト・サークルなど、高校までとは違った幅広い分野、世代の人たちとの出会いが刺激となったことが、銀行への就職を希望した理由でもあり、今しっかり活かされています。これから大学生活を迎える皆さんにも、ぜひたくさんの経験して頂けたらと思います。



# 大学院経済学専攻

## 経済学専攻の概要

経済学専攻は、本研究科開設以来40年間、その屋台骨を担ってきました。

現在、われわれを取り巻く経済環境の変化は急速です。少子高齢化やグローバル化の進展という大きなトレンドの中で、産業構造の転換、政府の財政赤字の深刻化など、日本経済はきわめて多くの難問を抱えています。こうした現実の諸問題に対し、経済学のオーソドックスな分析方法を基礎として多面的に接近することが経済学専攻の特徴です。

本専攻は、ミクロ・マクロ経済学の理論的發展を目指す「経済理論系」、財政・金融政策にかかわる実践的問題を取り扱う「経済政策Ⅰ系」、国際経済政策・産業政策などの望ましいあり方を探る「経済政策Ⅱ系」、経済システムの多様性と変化を追究する「制度・歴史系」の4つの系に大別されます。多様な見地に立つ4つの系の存在により、幅広い問題意識に応える専門知識や分析能力を身につけることが可能です。

### ◆カリキュラム表

#### 博士前期課程

演習	演習Ⅰ、演習Ⅱ	
専門分野科目	基礎科目	ミクロ経済学基礎、マクロ経済学基礎、計量経済学基礎、経営原理、会計ファイナンス基礎
	経済理論系	ミクロ経済学、マクロ経済学、マクロ経済分析、金融論、国際経済学、都市経済学
	経済政策Ⅰ系	公共経済学、財政政策論、地方財政論、金融政策論、国際金融論、実験経済学、租税法
	経済政策Ⅱ系	産業組織論、農業経済学、社会保障論、開発経済論、国際経済関係論
	制度・歴史系	経済学史、制度経済学、労使関係論、日本産業史、比較産業史
共通科目	環境経済論、特別講義、外国文献研究、ワークショップ	

#### 博士後期課程

演習	演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ	
専門分野科目	経済理論系	ミクロ経済学、マクロ経済学、応用計量経済学、金融論、国際経済学
	経済政策Ⅰ系	租税政策論、公共経済論、財政政策論、金融政策論、国際金融論、実験経済学
	経済政策Ⅱ系	産業組織論、農業経済学、社会保障論、開発経済論、国際経済関係論
	制度・歴史系	経済学史、制度経済学、労使関係論、日本産業史、比較産業史
共通科目	経済学特論、ワークショップ	

### 先輩 MESSAGE

## 体系的に学ぼう

鬼頭和宏さん 博士前期課程経済学専攻

現在、私は医薬品産業をテーマとして研究をしています。入って実感したことは、自分には体系だった理解が不足していたということです。基本的な手法一つをとっても、前提や適用できる範囲について感覚的に理解していたため、不正確でした。こま切りの知識では、何が欠けているのかを認識することが難しかったのだと思います。学ぶにあたって、数学が壁になりましたが、先生方の指導により理解が進んでいます。学問の体系を学ぶことにより、今までよりも広い視野を持つことができます。そして日常の思いがけない時に役立つかもしれません。



# 大学院経営学専攻

## 経営学専攻の概要

経営学専攻は、企業活動のグローバル化、会計基準の国際的収斂、金融や情報技術の発展などといった、昨今の企業を取り巻く経営環境の大きな変動の中で、企業活動にかかわる諸問題に経営・会計・財務・情報の立場からアプローチすることを目的としています。

本専攻は、企業経営に関する様々な問題を解決する方法を追究する「経営系」、会計情報を利用した管理・計画やその影響を分析する「会計系」、企業の財務政策や経営戦略にかかわる諸問題に計量的手法で接近する「ファイナンス・情報系」といった3つの系からなります。

3つの系では、いずれも各分野固有の理論的問題とともに実務的問題に取り組むことを特色としています。3つの系は企業活動の分析については互いに緊密な関係にあり、系の独自性を保ちつつ相互に関連性を持って教育・研究を行うことで、企業マネジメントや会計ファイナンスに関わる高度専門職業人や研究者の育成をめざしています。

### ◆カリキュラム表

#### 博士前期課程

演習	演習Ⅰ、演習Ⅱ	
専門分野科目	基礎科目	ミクロ経済学基礎、マクロ経済学基礎、計量経済学基礎、経営原理、会計ファイナンス基礎
	経営系	企業論、交渉とリーダーシップ、経営組織、経営戦略、マーケティング、現代生産管理論、商品開発、医療経営論、経営ケース研究
	会計系	財務会計、管理会計、国際会計、財務分析、会計ケース研究
	ファイナンス・情報系	計量経済学、統計解析、数理ファイナンス、企業ファイナンス、応用企業ファイナンス、経営情報、オペレーションズ・リサーチ、数量分析
共通科目	環境経済論、特別講義、外国文献研究、ワークショップ	

#### 博士後期課程

演習	演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ	
専門分野科目	経営系	企業論、交渉とリーダーシップ、日本企業と経営革新、日本企業と経営戦略、マーケティング
	会計系	会計学原理、財務会計、国際会計
	ファイナンス・情報系	計量経済学、統計解析、数理ファイナンス、企業ファイナンス、経営情報、オペレーションズ・リサーチ、数量分析
共通科目	経済学特論、ワークショップ	

### 先輩 MESSAGE

## 本研究科の特長と環境

森山京亮さん 博士前期課程経営学専攻

私の所属する経済学研究科経営学専攻では、講義が夜間や週末にも開講されており、長期履修制度もあるため、時間的制約のある方でも研究に取り組むことができます。またセミナー等への参加により、研究視野を拡張できます。研究環境も十分な設備が用意されています。例えば、図書館は全国有数の水準を誇っています。また、様々なデータも揃っており、研究テーマに沿った分析を行うことができます。加えて、大学院生活の拠点となる研究室も長時間解放されています。本研究科への進学が、皆様にとって有益な機会となることを祈念しています。





# 修士論文／RP・教育支援

## 修士論文／RP (リサーチペーパー)

本研究科では、修士学位の取得のためには、修士論文1編もしくはRP2編を作成する必要があります。これらはいずれも大学院での学習・研究の成果として作成されるものですが、修士論文は高い専門性をそなえた「研究論文」、RPは講義科目の内容を深めた「研究報告書」という違いがあります。

## TA／RA制度

本研究科には、大学院生の教育活動および研究プロジェクトへの参画の促進と研究支援体制の充実を目的としたTA (ティーチング・アシスタント)、RA (リサーチ・アシスタント) の制度があります。これらの制度をつうじて教育、研究にかかわる経験を積むことができます。



## 長期履修制度

本研究科の博士前期課程には、やむをえない理由(仕事、家事、介護など)により2年間で修了することが困難な院生のための長期履修の制度があります。希望者は入学時もしくは2年進級時に所定の手続きにしたがって長期履修を申告します。それが認められれば、2年分の学費で3年間在籍することができます。毎年数名がこの制度を利用しています。

### 先輩 MESSAGE

## 長期履修制度を利用した理由

清水敏幸さん 博士前期課程経済学専攻

私が、長期履修制度を利用した理由は、社会人大学院生として仕事と学業の両立をしたかったからです。社会人大学院生は、十分な勉強時間が確保される保障はありません。私の場合、仕事も非常に忙しくて講義に出席することが出来るか、通学時間も長いと通えるか、演習や論文を書く時間が取れるかなど不安材料が多かったため長期履修制度を利用しました。この制度を利用して良かった点は、計画的な講義単位の履修が可能であることや論文も3年間かけてじっくりと書くことが出来ることです。みなさんも長期履修制度を利用して大学院生になりませんか。



# 入試(大学院経済学研究科)

### 先輩 MESSAGE

## 意欲と熱意が研究の途を拓く



井上克巳さん  
博士前期課程経済学専攻

私は社会人入試で当大学院へ入学しました。入学前には2年は長いと思われました。しかし、自ら立てた研究計画を修士論文という形にするには2年では短いと今は思っています。研究への思いに暴走することなく、それを論文で表現するには思いを超えた客観性や表現形式を身につけなければなりません。指導教授は常によりよき伴走者、先行者として私に指導や助言をくださいます。また、入学当初は経済学の基礎を固めるための講義が用意されていますし、仕事の都合を考慮した長期履修制度も用意され、学生個々の事情を尊重してくれます。仕事と研究の両立は挑戦しがいのあるものです。

### 先輩 MESSAGE

## 大学院の魅力と研究の進め方



佐和田有香さん  
博士前期課程経営学専攻

博士前期課程の特色に、私のような社会人経験のない大学院生も社会人の方々と一緒に学ぶことができるということが挙げられます。授業内外での交流も頻繁に行われているため、先生方からは理論的なお話を、社会人大学院生の方々からは実践的なお話の両方を聞くことができ視野も広げることができます。入学後は、先生と相談して定めたテーマに沿って各自で研究を進める形になるので、何を学びたいのか、それをどう生かしたいのか等明確な目的や目標を持ち研究に取り組むことがモチベーション維持のためにも必要になります。

本研究科では、博士前期課程と博士後期課程の入試をそれぞれ実施しています。博士前期課程では、「一般選抜」・「外国人特別選抜」・「社会人特別選抜」の3つの入試を行っています。また博士前期課程の入試については、入試説明会を開催しています。

### 1 博士前期課程入試に関する事 (平成24年度)

#### ● 入試説明会

選抜方法	開催日程
一般選抜 外国人特別選抜	7月2日
社会人特別選抜	第1回：7月2日
	第2回：12月3日
備考	詳しい日時・会場は、近くなりましたら 経済学研究科ホームページでお知らせします。

#### ● 入試予定

選抜方法	募集人数	試験日程
一般選抜 外国人特別選抜	合わせて20名	9月1日・2日
社会人特別選抜	第1回：15名	10月1日
	第2回：5名	1月28日
備考	出願資格、出願期間、試験日、試験科目については、 大学発行の募集要項等で確認してください。 またあわせて大学ホームページの「入学案内」も ご覧ください。	

### 2 博士後期課程入試に関する事 (平成24年度)

#### ● 入試予定

専攻区分	募集人数	試験日程
経済学専攻	5名	2月18日
経営学専攻	5名	
備考	出願資格、出願期間、試験日、試験科目については、 大学発行の募集要項等で確認してください。 またあわせて大学ホームページの「入学案内」も ご覧ください。	

\*10月下旬に入試説明会を行う予定があります。



# 進路

## ◆進路状況

年度	修了者	一般・外国人				社会人	社会人のうち 後期課程に 進学した者
		就職	進学	その他	計		
平成18	39	13	6	2	21	18	2
平成19	34	13	3	4	20	14	3
平成20	32	13	4	4	21	11	1
平成21	37	10	2	5	17	20	1
平成22	33	7	0	7	14	19	1

## ◆前期課程修了者 主な就職先

金融・保険	三菱東京UFJ銀行 みずほ銀行 三井住友銀行 プロミス 商工中金
メーカー	トヨタ紡織 日東工業 大同特殊鋼 IHI 豊田合成
情報・サービス	ユアソフト 東京商工リサーチ
公務	名古屋市役所 名古屋国税局 国土交通省
その他	トーマツ しんせい総合税理士法人 税理士法人のぞみ 税理士法人アクシス

## ◆学位授与数(平成23年3月現在)

区分	授与数		計
	一般・外国人	社会人	
修士	一般・外国人	287	632
	社会人	345	
博士	課程博士	47	66
	論文博士	19	

## ◆卒業生からのメッセージ

### 知に戯れる喜び—無限の可能性に挑む—



諏訪一夫さん

博士後期課程経済学専攻  
2011年修了

知らないことばかりである。だから学ぶのである。不遜にも奥深い無限の知に對峙し對話するため、自己の無限の可能性に挑み、静謐で貪欲に学ぶ愉しさは至高の快感であり至福の時である。行政実践者として60歳で定年退職するまでもが生き抜いてきた私である。実践を学問の知で整理、総括し、明るい展望をしたくて大学院の門をたたいた。道は果てしないが、知に戯れることが喜びである。学ぶことに年齢はない。絶えず脚下照顧しつつも、時にはすることなく、大望を持って未来に挑み続け人生を謳歌したい。

### 実務と理論を架橋する

#### 木俣貴光さん

博士前期課程経営学専攻  
2008年修了



社会人が大学院で学ぶことの意義は、①実務の背景にある理論について研究し知見を深めることで仕事のレベルアップにつながる、②さまざまな年代や業種の人たちとの交流を通じて人脈はもとより価値観も広がる、③苦勞して大学院を出たことで自分への自信につながるとともに対外的な信用力向上やキャリアアップにもつながる、といった点が挙げられると思います。私の場合は、主に①を目的に大学院に入ったのですが、②や③の効果を実感することも多々あります。仕事と研究の両立はかなり大変ですが、その分得られるものも大きいと思います。

### ●経済学研究科同窓会 剣陵会 紹介●

#### 研究と教育を軸にした活動を展開

経済学研究科同窓会  
「剣陵会」会長

#### 梅原浩次郎さん



経済学研究科は、1968年度の創設から40年余、夜間開講の社会人大学院は1989年の創設から20年余が経過しています。修士の学位取得者も、創設以来600名を超える人数となっています。

剣陵会は、当初は社会人大学院修了生によって組織されました。その後、研究科修了生を包括的に組織する同窓会として、発展改組してきました。「大学院に同窓会?」と思われるかも知れませんが、修了生に相応しい研究活動や教育啓蒙を軸にした活動を展開しています。

例えば、「市民公開講座」を毎年市民向けに開催し、2010年度で10回を数えています。テーマは、「貿易と東アジア共同体」「21世紀の地方自治改革」「トヨタショックと愛知の経済社会」など、その時々話題になっていることを取り上げてきました。

また、「大学院での寄付講義」を開設し、経済学特論、経営学特論を開講しています。研究成果や社会経験を教育・研究に還元し、自己の研鑽に役立てることを目的としています。2010年度は、「税財政改革と社会制度改革」「企業戦略と日本企業」を実施し、2011年度も予定しています。その他にも、教授と修了生の共同著作『トヨタショックと愛知経済—トヨタ伝説と現実』(2011年4月、晃洋書房)の出版活動、中国社会科学院日本研究所との学術交流への参画などです。

大学院や同窓会での研究活動を通じて「人生を変えた」経験をしている会員が多いと聞きます。研究のチャンスを提供し、活動を支えていくように努力したいと考えています。

# 附属経済研究所・社会貢献

## 附属経済研究所

本研究所は平成8年4月に設立されました。設立の趣旨は「国際的視野に立った地域経済の研究を通じて広く国際・地域経済に貢献すること」です。将来一層緊密な関係が予想されるアジア経済をはじめとする世界経済との連携を考慮しつつ、世界の製造業の中で重要な地位を占める中部圏の経済構造、財政、環境、高齢化社会と福祉などの問題を総合的に研究し、名古屋経済の活性化や公共政策立案などに役立つ研究を志向しています(プロジェクト研究)。研究所では、研究所セミナーやプロジェクト報告会を開催しているほか、本学経済学研究科と共同して公開シンポジウムを開催しています。研究所の年報として、『国際地域経済研究』を刊行しており、第12号(平成23年4月)まで発行されています。



プロジェクト研究名	期間
『団塊の世代退職による労働力不足と外国人労働者』	2006~2008年度
『名古屋における医療と介護・健康に関する研究』	
『地方分権時代における大都市税財政のあり方に関する研究—名古屋市税財政の現状・推移・将来—』	
『新たな国際マネーフローとイスラム金融』	2009年度
『名古屋市・東山地区の経済的評価』	
『名古屋市・東海地域の産業再構築とイノベーション』	2010年度~2011年度
『都市における生態系サービスの評価：名古屋での指数策定に向けて』	
『東海地域の経済発展と環境問題』	2010年度~2012年度

## クラスター研究

(経済学研究科)

本研究科では、平成22年よりクラスター研究が始まりました。クラスター研究とは、専攻および系ごとの教員が集い、共同で研究を行う体制のことです。現在7つの系によってクラスターが形成され、それぞれにおいてセミナーや研究が行われています。

## 市民向け講座

(経済学部・経済学研究科)

本研究科では、社会貢献として市民向け講座を開講しています。市民向け講座には、公開シンポジウム(附属経済研究所との共催)、市民公開講座、授業公開、社会人向けIT講座、名古屋市立大学連携講座(新・やさしい日本経済の話)などがあります。過去の開催状況については、本研究科ホームページ内「市民向け講座」をご覧ください。



# 教員紹介

学部	大学院	氏名	専門分野・担当科目
公共政策学科	経済学専攻	伊藤亮	専門分野: 都市・地域経済学 学部担当科目: 都市経済学 大学院担当科目: 都市経済学
		大野幸一	専門分野: 経済政策、経済理論 学部担当科目: 経済発展論、国際公共政策論 大学院担当科目: 開発経済論
		川端康	専門分野: 国際貿易論 学部担当科目: 国際経済学 大学院担当科目: 国際経済学
		木村匡子	専門分野: 人口経済学、マクロ経済学 学部担当科目: 公共政策 大学院担当科目: マクロ経済分析
		澤野孝一郎	専門分野: ミクロ経済学、医療経済学 学部担当科目: ミクロ経済学、医療経済学 大学院担当科目: ミクロ経済学
		外谷英樹	専門分野: マクロ経済学、経済成長論、経済発展論 学部担当科目: マクロ経済学 大学院担当科目: マクロ経済学
		永野護	専門分野: 国際金融論 学部担当科目: 国際金融論 大学院担当科目: 国際金融論
		中山徳良	専門分野: 産業組織論、公益事業論、医療経済学 学部担当科目: 産業組織論、医療経済学 大学院担当科目: 産業組織論
		濱口泰代	専門分野: 実験経済学、公共経済学、法と経済学 学部担当科目: 実験経済学 大学院担当科目: 実験経済学
		向井清史	専門分野: 農業環境政策、地域計画、非営利経済論 学部担当科目: 食料・資源政策論、非営利経済論 大学院担当科目: 農業経済学
		村瀬英彰	専門分野: 金融論、経済政策論、新しい政治経済学 学部担当科目: 金融論 大学院担当科目: 金融論
		森徹	専門分野: 財政学、地方財政論、公共経済学、実験経済学 学部担当科目: 地方財政論、租税論 大学院担当科目: 地方財政論、租税政策論
		森田雄一	専門分野: 経済理論、財政学、金融論 学部担当科目: 財政学 大学院担当科目: 財政政策論
		焼田党	専門分野: マクロ経済学、公共経済学 学部担当科目: 公共経済学 大学院担当科目: 公共経済学
		山本陽子	専門分野: 労働経済学、社会保障論 学部担当科目: 社会保障論 大学院担当科目: 社会保障論
横山和輝	専門分野: 金融論、経済史 学部担当科目: 金融政策論 大学院担当科目: 金融政策論		
マネジメントシステム学科	経営学専攻	板倉健	専門分野: 国際経済学、貿易政策 学部担当科目: 国際経済関係論、世界経済論 大学院担当科目: 国際経済関係論
		井上泰夫	専門分野: 経済政策、経済学説、制度経済学 学部担当科目: 制度経済学、欧米経済論 大学院担当科目: 制度経済学
		木谷名都子	専門分野: 外国経済史、比較産業史 学部担当科目: 経済史、外国経済史、経営史 大学院担当科目: 比較産業史
		田中彰	専門分野: 経済史、産業経済 学部担当科目: 経済史、日本経済史、経営史 大学院担当科目: 日本産業史
		藤田菜々子	専門分野: 経済学史、制度経済学 学部担当科目: 比較経済システム論、制度経済学 大学院担当科目: 経済学史
		松村文人	専門分野: 労使関係論、労働経済学 学部担当科目: 労使関係論、人的資源管理 大学院担当科目: 労使関係論
		大神正道	専門分野: 技術マネジメント、生産管理 学部担当科目: 生産管理、商品開発 大学院担当科目: 現代生産管理論
		奥村哲史	専門分野: ネゴシエーション、紛争解決、リーダーシップ、リスク管理 学部担当科目: リーダーシップとネゴシエーション、組織行動 大学院担当科目: 交渉とリーダーシップ
		河合篤男	専門分野: 経営組織論、組織革新 学部担当科目: 経営組織、変革マネジメント 大学院担当科目: 経営組織、日本企業と組織革新
		角田隆太郎	専門分野: 事業創造論、経営戦略論、経営組織論 学部担当科目: 企業論、新事業創造論、国際経営論 大学院担当科目: 企業論
		出口将人	専門分野: 経営戦略論、経営組織論 学部担当科目: 経営戦略、ナレッジマネジメント 大学院担当科目: 経営戦略、日本企業と経営戦略
		山本奈央	専門分野: マーケティング 学部担当科目: マーケティング、ブランドマネジメント
		茨木智	専門分野: 数理計画、オペレーションズ・リサーチ 学部担当科目: オペレーションズ・リサーチ、情報処理論 大学院担当科目: オペレーションズ・リサーチ
		臼杵政治	専門分野: ファイナンス、年金論、証券投資論 学部担当科目: 企業ファイナンス、コーポレートガバナンス 大学院担当科目: 応用企業ファイナンス、企業ファイナンス
		小川淳平	専門分野: 会計学 学部担当科目: 国際会計、簿記原理 大学院担当科目: 国際会計
神山真一	専門分野: 経済工学、数量経済分析 学部担当科目: 財務情報処理、情報処理論 大学院担当科目: 数量分析		
河合勝彦	専門分野: 経済・経営情報学、計算経済学、経済・経営シミュレーション 学部担当科目: 経営情報学、情報処理論 大学院担当科目: 経営情報		
坂和秀晃	専門分野: コーポレート・ガバナンス、マーケット・マイクロストラクチャー 学部担当科目: 金融システム論、金融機関マネジメント 大学院担当科目: 企業ファイナンス		
高橋二郎	専門分野: 会計学 学部担当科目: 原価計算、監査論 大学院担当科目: 財務分析		
星野優太	専門分野: 会計学 学部担当科目: 管理会計、会計学原理 大学院担当科目: 管理会計、会計ケース研究、会計学原理		
程島次郎	専門分野: 計量経済学、ファイナンス、金融工学、統計学 学部担当科目: 計量経済学、証券投資論 大学院担当科目: 計量経済学		
三澤哲也	専門分野: 統計解析、金融工学、計量ファイナンス分析 学部担当科目: データ分析基礎、ファイナンス分析 大学院担当科目: 統計解析		
吉田和生	専門分野: 財務会計 学部担当科目: 財務会計、会計学原理 大学院担当科目: 財務会計		
共通	共通	香坂玲	専門分野: 環境経済論 学部担当科目: 環境経済学 大学院担当科目: 環境経済論



「経済学部・大学院経済学研究科 公式サイト」  
<http://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/>

- ・学部、大学院の詳しい情報をタイムリーに知ることができます。
- ・教員のプロフィールがわかります。



「Netで体験！名市大経済学部」  
<http://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/ePortal/>

- ・経済学部の教員・学生による高校生・受験生向け情報の発信サイトです。
- ・公式サイトでは触られていない情報(例えば、ゼミ活動紹介や部活・サークルの紹介、大学生活ブログなど)が続々と集まっています。パソコンからチェック!